

総務・政策・企業常任委員会 県外行政調査

1 調査日 平成 30 年 11 月 6 日（火）～ 8 日（木）

2 調査の概要

11 月 6 日（火）

（1）公立大学法人 国際教養大学（秋田県秋田市）

調査事項：「公立大学法人の運営状況等について」

国際教養大学は、日本初の公立大学法人として平成 16 年に開学され、徹底した英語教育により国際社会で活躍する人材を育成されている。

また、「授業はすべて英語」、「1 年間の寮生活による異文化交流体験」、「24 時間 365 日開館の図書館」など、従来の大学にはなかった特徴的な取り組みが行われており、「THE 世界大学ランキング日本版 2018」（上位 20 大学）においても、公立大学で唯一、総合 12 位にランクインしている。

こうしたことから、今後の本県の取り組みの参考にするため、同大学法人の運営状況等について調査を行った。



(2) 秋田県議会（秋田県秋田市）

調査事項①：「第3期ふるさと秋田元気創造プランの概要等について」

秋田県は、これまでの取り組みの成果や現在の社会経済情勢を踏まえ、県の最重要課題である人口減少の克服と秋田の元気創造を目指した新たな県政運営の指針として、「第3期ふるさと秋田元気創造プラン」（計画期間：平成30年度から4年間）を策定している。

同プランでは、概ね10年後の目指す姿を示すとともに、その実現に向けて、具体的な6つの重点戦略により、施策や事業の総合的な展開を図ることとしている。

また、着実に施策を推進するために、プランの実効性を確保することを方針として掲げられている。

こうしたことから、今後の本県の取り組みの参考にするため、同プランの概要等について調査を行った。

調査事項②：「秋田県の行政改革について」

秋田県においては、平成11年度から行財政改革を県政の重要課題に位置づけており、これまでの取り組みの成果や行財政運営を取り巻く状況等を踏まえ、現在は、「新行政改革大綱（第3期）」（実施期間：平成30年度から4年間）による取り組みが進められている。

また、効果的で無駄のない行政の推進を目指し、住民サービスの向上、事務事業の効率的な実施、行政コストの縮減を図るため、県と市町村の機能合体を推進している。

こうしたことから、今後の本県の取り組みの参考にするため、秋田県の行政改革の概要について調査を行った。



11月7日（水）

（3）五城目町地域活性化支援センター（秋田県南秋田郡五城目町）

調査事項：「地域活性化支援センターの概要等について」

五城目町は、起業やコミュニティー活動などを実施する事業者を支援する場として、小学校の廃校舎を利活用する形で、平成25年10月から五城目町地域活性化支援センターを開設した。

同センターは、さまざまな体験学習やイベントなどを通じて、これまでの旧小学校が担ってきた地域交流の基点となり続けることや、入居企業・団体がさらなる活躍の場としての基点になることをコンセプトとしており、同町の移住・定住に係る取り組みの一つである地域おこし協力隊の活動拠点にもなっている。

こうしたことから、今後の本県の取り組みの参考にするため、同センターの概要等について調査を行った。



（4）岩手県議会（岩手県盛岡市）

調査事項①：「『黄金の國、いわて。』による対外情報発信について」

岩手県においては、各分野にわたり「岩手」が持つ豊かさと信頼を県外へ情報発信することにより、県外からの評価を高め、県のイメージアップと岩手ブランドの構築により競争力の強化を図るため、イメージコピー「黄金の國、いわて。」による統一的な広報を実施している。

こうしたことから、今後の本県の取り組みの参考にするため、岩手県における対外情報発信について調査を行った。

調査事項②：「岩手県の防災・減災対策について」

岩手県は、平成23年3月11日の東日本大震災で甚大な被害に見舞われたが、その後、現在に至るまで、「岩手県広域防災拠点配置計画」に基づく地震などの大規模災害に対応可能な広域防災拠点整備の推進や「みんなで取り組む防災活動促進条例」（平成23年4月1日施行）に基づき、県民、自主防災組織等の自発的な防災活動の促進を図るなど、本格復興に向けて、さまざまな取り組みを進めている。

こうしたことから、今後の本県の取り組みの参考にするため、岩手県の防災・減災対策について調査を行った。



11月8日（木）

（5）岩手大学地域防災研究センター（岩手県盛岡市）

調査事項：「センターの概要、取り組み等について」

岩手大学地域防災研究センターは、平成24年4月から、東日本大震災を契機として、被災地の復興を推進し、地域防災に関する研究、教育、活動拠点を形成するために、これまでの工学部附属組織から、大学の全学組織として再スタートした。

同センターにおいては、岩手の地域防災研究の拠点であることを使命に、三陸沿岸での安全、安心な地域づくり、災害文化の醸成、継承等を目的としたさまざまな取り組みが行われている。

また、センター内には、自然災害解析部門、防災まちづくり部門、災害文化部門があり、地域防災に焦点を当てて、地域の特性に根ざした防災研究・教育にも取り組まれている。

こうしたことから、今後の本県の取り組みの参考にするため、同センターの概要や取り組み等について調査を行った。

